

地域ごとのまちづくり計画

宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会

(コミュニティひばり)



令和2年（2020年）3月策定

目 次

はじめに	1
現状と課題	2
ま ち 地域の将来像	4
基本目標	4
具体的な取り組み	5
あとがき	11
資料	11

【はじめに】

○地域の概要

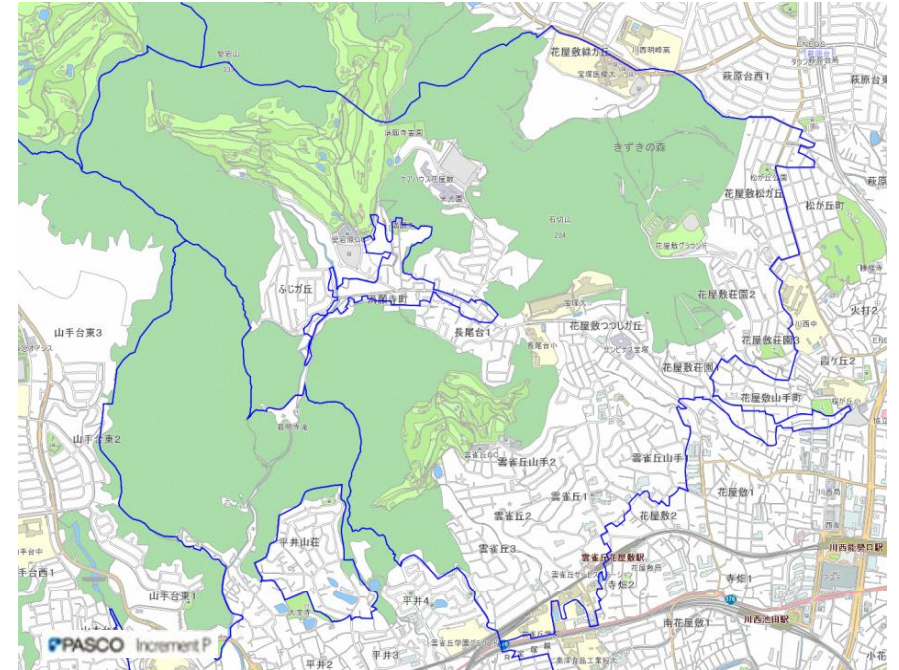
- ・長尾台小学校区まちづくり協議会（コミュニティひばり）のエリアは、雲雀丘、雲雀丘3丁目、雲雀丘山手、花屋敷荘園、花屋敷つつじガ丘、花屋敷松ガ丘、花荘みなみ、長尾台、ふじガ丘、満願寺町（川西市）地区の10の自治会で構成されている。
- ・最寄り駅は、阪急雲雀丘花屋敷駅・川西能勢口駅、JR川西池田駅で、大阪市内へ約30分という交通アクセスでの利便性が高い。
- ・教育施設は、宝塚市立長尾台小学校のほか、精常学園生成幼稚園、雲雀丘学園（幼・小・中・高）、宝塚大学、宝塚医療大学が立地している。

○まちの成り立ち

- ・日本で初めて山麓部地形をそのまま生かした市街地であり、1916年から順次開発が進められた。“緑の中に赤い屋根”の理念の下に建てられた当時の近代建築が16軒の群として現在でも残されている。
- ・1920年ごろに満願寺のふもとに新花屋敷温泉開業、1928年には日本で初めてトロリーバスが走っており、かつては温泉街としてにぎわっていた。また、もともと西谷村であったが、1954年に宝塚市制が施行され、翌1955年に西谷村から宝塚市に編入された。1958年には雲雀丘ゴルフ倶楽部、1977年に長尾台小学校、1987年に宝塚大学など大規模な開発が行われている。

○まちづくり活動

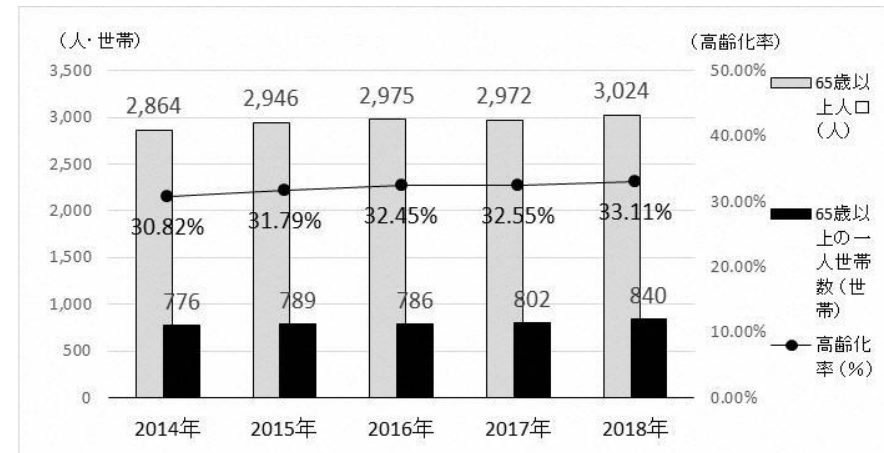
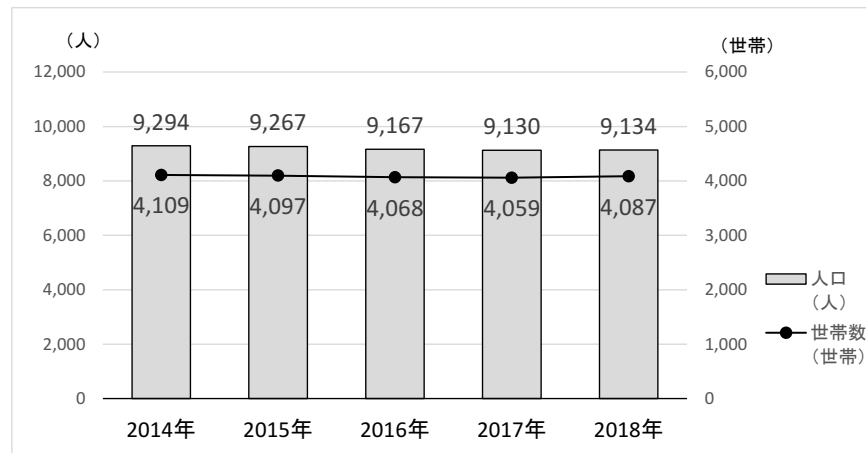
- ・景観保全への取り組みは、1987年に「雲雀丘地区景観モデル計画」を策定、1990年に「宝塚市都市景観形成建造物指定調査」が実施された。また、雲雀丘や雲雀丘3丁目、雲雀丘山手、北雲雀丘、満願の里（長尾台、ふじガ丘、川西市満願寺町）で、地区計画をはじめ、一部地域で都市景観形成地域、地区まちづくりルールが策定され、現在の緑豊かな閑静で良好な住環境が維持されている。
- ・コミュニティひばりは1995年に発足。1997年から現在でも続けられている「ひばり祭り」を実施、2007年から環境部会によりきずきの森の整備活動がスタートした。また、児童館設置を、“小さくても小学校毎に1か所に”と申し入れ、第6ブロック（長尾台、中山台、山本山手）に3か所の子ども館が誕生、2010年に「ひばり子ども館」が設置され、地域住民によって運営されている。2018年には地区防災計画を策定し、今後災害対策に力を入れていく。また、2016年から設置された雲雀丘100年浪漫委員会の後身として、現在雲雀丘浪漫委員会として活動し始めている。



【現状と課題】

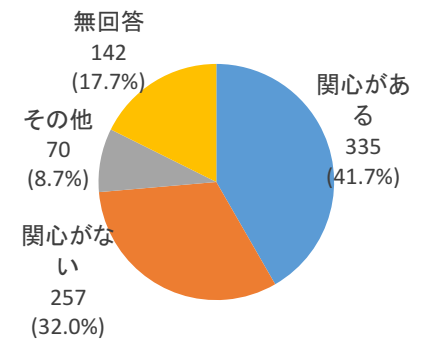
○現状

- ・人口は、4,087 戸、9,134 人(2018 年 3 月末)とほぼ横ばい状態である。
- ・高齢化率は約 33.1%(2018 年 3 月末)と、宝塚市全体（約 27.1%）と比べて高く、毎年 1%弱ほど増加している。特に、花屋敷周辺地区（花屋敷荘園 4 丁目で約 47.6%）で高齢化率が高くなっている。65 歳以上の人口に占める要介護・要支援認定者の割合は、約 20.0%である。
- ・全国的には少子化であるが、長尾台小学校の児童数は毎年 60 人前後の入学となっており、増減がほぼない。



○課題

- ・地域の担い手の高齢化・固定化とともに、また共働き世帯の増加により若い世帯の地域活動の参加が課題となっている。コミュニティビジネスに関心があるという声も多く、若い方が楽しく地域活動に関わる仕組みやきっかけづくりが求められる。
- ・当地域の地盤は、阪神大震災でも比較的被害が少なかったと言われているが、一方で、山際において、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）や土砂災害警戒区域（イエローゾーン）に指定されている箇所があり、台風・集中豪雨などへの対策が必要である。特に、指定避難所となっている長尾台小学校がレッドゾーンに指定されており、早急な対策が求められる。
- ・坂道が多く、地域住民の高齢化とともに、移動に苦労することが不安視されている。住民同士が支え合う仕組みの構築とともに、事業者との連携や、近年の IT 技術の進展も見据えながら、公共交通のあり方なども含めた地域



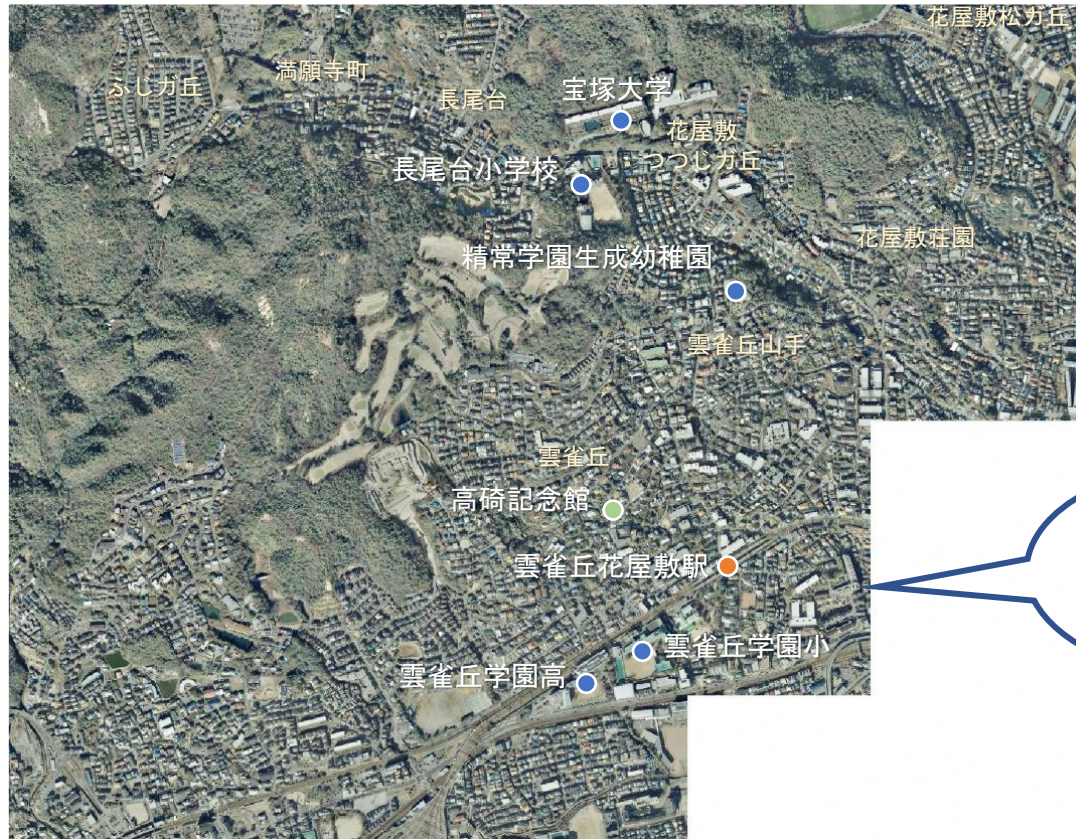
コミュニティビジネスへの関心

での生活のあり方について検討していく必要がある。

- ・里山などの豊かな自然・緑に包まれ、100年前の建築物が残される閑静な住宅地を、今後も維持していくことが望まれる。

避難所までの道は
坂道！

静かな街



多数の人が集う場所が
小学校以外にない！

車がないと不便な街

【^{ま ち}地域の将来像】

100年の歴史と緑を大切に、未来へとつなぐまち

当地域は、1916年、日本でも早くに山麓斜面を生かしながら近代住宅地として開発され、その後も周辺部に住宅地が拡大していった。1980年代から地域住民や行政により住環境や景観保全の取組みが進められ、現在でも自然環境に恵まれた良好な住宅地が維持されている。こうした連綿と引き継がれてきた歴史と緑を未来に引き継ぎつつ、豊かで安心して暮らせるまちづくりを目指す。

【基本目標】

- | | |
|---------------|--------------------------|
| 1. 安全・安心 | 子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくり |
| 2. インフラ整備 | 歴史的価値を残し、誰もが住みやすいまちづくり |
| 3. イベント・交流 | 多世代が楽しく参加・交流できるまちづくり |
| 4. 高齢者・障がい者福祉 | 住民同士が支え合うまちづくり |
| 5. 子ども福祉 | 子育てしやすいまちづくり |
| 6. 環境 | 豊かな自然を活かし、快適で安らぎのあるまちづくり |

【具体的な取り組み】

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20 年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21 年	22 年	23 年	24 年	25 年					
1. 安全・安心 「子どもからお 年寄りまで安心 して暮らせるま ちづくり」	(1) 安全・防犯対策													
	ア	防犯灯の設置要望（随時、各自治会で 設置要望箇所の集約） ・花屋敷荘園に続くへび坂（川西市） ・雲雀丘3丁目のもみじ橋 ・満願寺バス停留所～ふじガ丘住宅	○									○		
	イ	防犯カメラの設置推進（随時、各自治 会で設置要望箇所の整理・集約）	○									○		
	(2) 子どもの見守りの推進													
	ア	小学校の学童登下校の安全対策とし て、安全マップの活用（災害危険のあ る開口側溝、AEDの設置場所をマッ プに記入（随時、各自治会から報告）	○								○			
	イ	安全パトロールの実施（定期的に地域 情報の実地収集）	○								○			
	ウ	子ども連絡所（アトム110番）を、随 時、各自治会で整理・集約	○								○			
	(3) 道路の安全対策													
	ア	長尾台2丁目の宝塚大学運動場の横 の側溝の上の転落防止柵の設置	○										○	

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
					20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
						21年	22年	23年	24年	25年					
	イ	花屋敷つつじガ丘の点滅信号から花屋敷荘園方面の道路の側溝の転落防止対策 ※継続した話し合い	○								○				
(4) 獣害対策															
	ア	中山連山、石切山、その他の山に存在している動物（熊、イノシシ、アライグマ）の捕獲等の対策	○									○			
(5) 空き家・空き地対策															
	ア	空き家・空き地の環境維持（自治会ごとと空き家等の把握・所有者への要請）	○										○		
(6) 防災対策															
	ア	地区防災計画の実行		○									○		
	イ	指定避難所となっている長尾台小学校における土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の対策	○											○	
	ウ	地域内の土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の対策		○									○		
	エ	雲雀丘倶楽部を災害時に避難所として利用できるように要請		○									○		
	オ	地域内の危険箇所（ガケ地、雨水排水など）の状況把握と関係先への働きかけ		○									○		

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
					20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
						21年	22年	23年	24年	25年					
2. インフラ整備 「歴史的価値を残し、誰もが住みやすいまちづくり」	(1) 地域公共交通システムの整備推進														
	ア	事例研究・調査の実施		○						○					
	イ	関係機関と協議		○							○				
	ウ	住民と市・県との協議の場づくり		○								○			
	(2) 無電柱化の推進														
	ア	地域への説明とニーズの調査	○							○					
	イ	エリアの想定	○							○					
	ウ	住民と市・県との協議の場づくり	○									○			
	(3) 重要伝統的建造物群保存地区（重伝建地区）指定の推進														
	ア	登録有形文化財指定候補の選出		○						○					
	イ	所有者の了解・地域内の合意形成		○						○					
	ウ	市・県・文化庁への要請		○								○			
	(4) 旧安田邸利活用案の具体化														
	ア	地域のニーズの調査・分析	○							○					
	イ	利活用案の立案	○							○					
	ウ	市との協議	○									○			
3. イベント・交流 「多世代が楽しく参加・交流できるまちづくり」	(1) 地域全体で交流できる場・機会の創出														
	ア	ひばり祭りの実施	○							○					
	イ	「きずきの森」で自然環境をテーマとしたイベントの開催		○							○				
	ウ	各自治会行事への相互参加促進(盆踊り大会・夏祭り、バス旅行など)	○							○					

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
					20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
						21年	22年	23年	24年	25年					
	エ	各自治会館を活用した趣味の会の開催（JAZZを聞く会など）	○							○					
	(2) 地域の担い手づくり														
	ア	コミュニティとPTA世代の交流促進		○						○					
	イ	子育て世代のお父さんの地域活動への参加促進(おやじの会の立ち上げなど)		○						○				簡易なイベントの小学校のお父さんの協力要請、小学校行事での連携など	
4. 高齢者・障がい者福祉 「住民同士が支え合うまちづくり」	(1) 高齢者等の居場所づくり														
	ア	サロン活動の実施	○							○					
	イ	気軽に集まれる場所の確保(坂が多いため、各地区から移動が楽で集まりやすい場所)		○								○			
	(2) 地域内での交流の促進														
	ア	サロン同士の交流会の開催	○							○					
	イ	福祉ネットワーク会議の開催	○							○					
	ウ	介護者の交流会の開催	○							○					
	(3) 地域でさまざまな立場の方の支え合い														
	ア	認知症の方への声かけ		○						○					
	イ	障がい者への理解促進のための学習会の開催		○						○					
5. 子ども福祉 「子育てしやすいまちづくり」	(1) 小学生の学習支援														
	ア	寺子屋事業	○								○				
	イ	宿題ひろば	○							○					

基本目標	具体的な取り組み	継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
				20 年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
					21 年	22 年	23 年	24 年	25 年					
	（2）子どもの居場所づくり													
	ア	放課後子ども教室「坂っ子ひろば」	○								○			
	イ	子ども食堂（カレーランチ他）		○							○			
	ウ	中高生のための居場所づくり		○						○				
	エ	育成会待機児童の解消		○									○	
	（3）世代間交流の促進													
	ア	焼き芋大会・餅つき大会	○							○				
	イ	子ども館と連携したイベントの拡充	○							○				
	（4）親への支援（職業の有無にかかわらず）													
	ア	ファミリーサポートセンター事業のPR		○								○		
	イ	情報提供の冊子づくり		○						○				
	ウ	子どもの一時預かり制度の検討		○						○				
	（5）人材発掘・育成													
	ア	人材バンクへの登録制度の再開	○							○				
	イ	情報が届きにくい世代へのPR		○						○				
	（6）学校との連携													
	ア	コミュニティスクールの推進		○								○		
6. 環境 「豊かな自然を 活かし、快適で安 らぎのあるまち	（1）住宅地環境の整備													
	ア	既存桜並木の適切な保全	○									○		
	イ	住宅地域内やその周辺部の高木の整備（防災と景観の両面）		○								○		

基本目標	具体的な取り組み		継続	新規	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）				備考	
					20年	第6次総計					① 市民	② 主に 市民	③ 市民と 行政		④ 主に 行政
						21年	22年	23年	24年	25年					
づくり」	ウ	住宅のコンクリート法面等の緑化啓発		○									○		
	エ	各公園の適切な維持管理	○										○		
	(2) きずきの森の活用														
	ア	住宅地からのアプローチがしやすい通路の整備		○									○		
	イ	生物多様性戦略に基づく新しい魅力づくりの検討	○										○		
	(3) 地域の環境保全に向けた取り組み														
	ア	環境保全活動の担い手づくり		○								○			
	イ	太陽光発電等自然破壊の防止に向けた行政への働きかけ		○									○		

【あしがき】

コミュニティひばりでは、まちづくり計画の見直しにあたり、自治会や各部会等から委員を選出し、まちづくり計画作成委員会を立ち上げ、2018年6月から2020年3月まで計14回にわたり議論を重ねてきました。委員会では、まちづくりのテーマについて委員から意見出しをした後、共通のテーマを分類し、「防災・防犯」「インフラ整備」「イベント・交流」「福祉」「子ども福祉」「環境」の6つの分科会で、現状と課題、地域の将来像や基本目標、具体的な取り組みについて話し合いました。2018年12月から2019年1月には、自治会、長尾台小学校の協力のもと全住民にアンケートを実施し、804人の方々からご意見やご提案をいただき、計画づくりのベースにしたほか、2019年12月から2020年1月にとりまとめられた計画（概略版）について再度ご意見をいただき、本計画をまとめました。計画をとりまとめるにあたり、ご協力、ご支援いただきました関係各位に、心よりお礼申し上げます。

当地域では、緑豊かな閑静で良好な住環境が残される一方で、地域住民の高齢化の進展や土砂災害の対応など、さまざまな課題も抱えています。今後、誰もが安心して暮らせるまちを目指して取り組んでいきたいと考えていますので、地域の皆さまのご参画、ご協力をよろしくお願いいたします。

【資料】

○まちづくり計画作成委員会メンバー（順不同）

委員長	松山 潤一
防犯・防災分科会	熊沢順子 / 甲田晋 / 多田久子 / 松原孝彦 / 山本慶一 / 田口欽也
インフラ整備分科会	名嘉真朝敏 / 前田幸夫 / 藤墳里美 / 宮本加奈美
イベント交流分科会	三島基道 / 鈴木邦光 / 松山潤一 / 長榮浩一
福祉分科会	円藤義治 / 梅田美佐子
子ども福祉分科会	河野明美 / 菅沼玲子 / 山村仁子 / 山内朝美
環境分科会	中尾幸子 / 前田松和
広報	神村由希子 / 菅沼玲子

○まちづくり計画見直しの経緯

第1回まちづくり計画作成委員会	2018年6月30日(土)	まちづくり計画見直しの進め方について（役割分担、スケジュールなど）
第2回まちづくり計画作成委員会	2018年8月4日(土)	まちづくりのテーマの意見出し、共通テーマの分類、分科会のメンバー分け
各分科会で検討	2018年8～10月	①防災・防犯、②インフラ整備、③イベント交流の3分科会で検討
第3回まちづくり計画作成委員会	2018年10月8日(月)	各分科会の報告・意見交換
各分科会で検討	2018年10～11月	4分科会（新たに④福祉分科会の設置）にて、アンケートの質問項目を検討
ひばり祭りにてアンケート	2018年11月11日(日)	ひばり祭りで張り出しアンケートの実施「どんなまちにしたいか」
第4回まちづくり計画作成委員会	2018年11月17日(土)	住民アンケート調査内容の検討
住民アンケート調査	2018年12月～2019年1月	住民アンケート調査の実施（①自治会を通して配布・回収、②小学校を通じて小学生の保護者に配布・回収 / 配布2,543、回収804、回収率31.6%）
第5回まちづくり計画作成委員会	2019年2月2日(土)	住民アンケート結果の途中経過の共有
第6回まちづくり計画作成委員会	2019年3月23日(土)	住民アンケート結果の報告、意見交換、広報誌での結果報告について
各分科会で検討	2019年3～5月	アンケート結果をもとに具体的な取り組み等の検討
まちづくり協議会総会	2019年5月18日(土)	まちづくり計画の進捗状況を報告
第7回まちづくり計画作成委員会	2019年5月25日(土)	アンケート結果を踏まえて、各分科会での検討結果を報告
各分科会で検討	2019年5～7月	各分科会（新たに⑤子ども福祉分科会の設置）で具体的な取り組み等の検討
第8回まちづくり計画作成委員会	2019年7月27日(土)	各分科会での検討結果を報告
各分科会で検討	2019年7～8月	各分科会（新たに⑥環境分科会の設置）で具体的な取り組み等の検討
住民アンケート調査結果配布	2019年8月	アンケート結果概要の全戸配布
第9回まちづくり計画作成委員会	2019年8月29日(木)	各分科会での検討結果を報告
各分科会で検討	2019年8～9月	各分科会で具体的な取り組み等の検討
第10回まちづくり計画作成委員会	2019年9月7日(土)	まちづくり計画案のとりまとめ⇒市に中間報告提出
第11回まちづくり計画作成委員会	2019年9月26日(水)	まちづくり計画案のとりまとめ
第12回まちづくり計画作成委員会	2019年11月11日(月)	まちづくり計画案のとりまとめ
パブコメ実施	2019年12月～2020年1月	自治会を通じてパブリックコメントの実施（意見2件）
第13回まちづくり計画作成委員会	2020年2月13日(木)	パブリックコメントへの対応の検討、まちづくり計画のとりまとめ
第14回まちづくり計画作成委員会	2020年3月5日(木)	まちづくり計画の最終とりまとめ